

📅 9月6日 火の国ハイツ

第2回データヘルス計画の効果的な実施に向けた学習会

糖尿病重症化予防の実践

～計画化から実践のプロセスを学ぶ～



本学習会は長野県飯田女子短期大学非常勤講師の熊谷勝子氏を講師に迎え、各市町村の保健事業担当課の管理職、事務職及び保健師・栄養士等の専門職合わせて240人が参加した。

まず、情勢の学習では、本年4月の経済財政諮問会議資料「社会保障改革の推進に向けて」を講師が読み解き、今後3年程度の取り組みに対する考え方を押さえたことで、保険者として優先的にやるべきことの再確認につながった。

次に、各市町村が課題として取り組んだ「糖尿病重症化予防の計画化」の実践レポートをもとに学習した。2市のレポート資料から、実態把握の方法や課内、庁内における会議の持ち方、医療機関との連携方法、保健指導の力量形成のためのカンファレンス実施方法など具体的な実践方法が分かった。グループでのディスカッション（他市町村との意見交換）も大変盛り上がり、今後の取り組みにつなげることができる内容であった。



📅 9月7日 嘉島町町民会館

第2回データヘルス担当研修会（力量形成）

保健指導の力量形成

本研修会は、前日の「第2回データヘルス計画の効果的な実施に向けた学習会」に引き続き、熊谷勝子氏を講師に迎え、各地区において将来的に保健活動のリーダーとして活躍できる保健師等専門職を対象に開催し、平成30年度は「保健指導の力量形成」のための学習を行っている。

第2回目の今回は、32市町村から約80人の保健師・栄養士が参加した。

研修会前半は、講師の問いに対してグループディスカッションで学習が進められ、思考の過程で、問うことや考えることが抜け落ちやすい傾向にあることを改めて確認した。

後半は、保健指導教材のひとつである「糖尿病の構造図」について、内容の確認や保健指導の際の説明の仕方、医療との連携における活用方法等について詳しい解説があった。

「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を推進していく上で医療との連携は要であり、具体的な連携方法についても考える機会となった。